

# 令和4度事業報告

## 施設名 くるめ園

### 1 総 括

コロナ禍での運営も3年目に入り、ようやく終息に向けて5月には感染症法の分類もインフルエンザと同等に引き下げられることが決まりました。くるめ園では引き続き感染予防については意識をして行動してきましたが、7月に職員9名、ご利用者2名の感染、12月上旬には職員から始まり、職員13名、ご利用者23名が感染するクラスターが発生しました。このため職員配置を特別体制とし、ご利用者には隔離対応を実施したため、静寂な正月となりました。特に12月のクラスター発生時の際には収束まで1か月強の時間、職員の負担は計り知れないものでした。目に見えないウイルスとの戦いには試行錯誤しながらも、ご利用者の安全と安心を守るという職員の行動に大変感謝しています。ただし、クラスター発生中にご利用者への不適切な対応があったとして、東京都の指導検査を受けることになりました。結果を待っている状態ですが、身体拘束につきましてはマニュアルとフローチャート見直しや記録の残し方について見直しを図ったところです。

毎月1回行っていた行事につきましては、7月の感染者発生時に予定していたスイカ割り大会と12月のクラスター発生時に予定していたクリスマス昼食会や正月3が日の行事が中止となりました。それ以外の行事につきましては予定通り実施することができ、今年度から始めたバースデイランチにつきましては、大変好評をいただきました。普段行事に参加されないご利用者からも素晴らしい笑顔をいただき、職員は元気をもらいました。入退所につきましては、男性が1名、女性3名のご利用者が退所しましたが、いずれも1か月程度で新規ご利用者が入所しております。ただし9月と2月の初日に空所を作ってしまったことで収入が減額されています。また、昨年に引き続き常時入院者が発生しており、入所率は95%と目標としていた96%へ近づくことができました。

次年度につきましてはコロナ禍において縮小されたご利用者の生活圏を少しずつ広げていきます。また、様々な規制や制限化の中でも、ご利用者が充実した施設生活を送れるよう日中活動の見直しをしたうえで順次再開できるよう努めていきます。

### 2 重点目標の取り組みと来期の課題

#### 1) まりもビルの大規模修繕・建て替えについて

##### 【目標】

まりもビルの建て替えに向けたプロジェクトチームを設置し、法人・まりも園と定期的に会議を開催し建て替えのスケジュールを作成していきます。

##### 【取り組み状況と結果】

新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、今年度は2回の開催で終了しています。まりも園、くるめ園とも職員配置が十分ではなく施設長のみ参加となってしまった。

##### 【今後の課題】

このままの環境で事業を継続するか否かも検討したうえで、早急に建て替えか大規模修繕かの方向性を立てていく必要があります。また、透明性を担保することや様々な意見をくみ上げるためにプロジェクトチームには各職種からの参加も必要になると考えています。

## 2) 利用対象者の見直しについて

### 【目標】

開所当時より法整備がされていない時代に障害者の居場所を作ろうと、重度身体障害者を受け入れてきましたが、現在では入所者の確保が難しくなっていく中で、利用対象者について検討していきます。

### 【取り組み状況と結果】

会議の中で取り上げたが、具体的な検討には至っていません。ワーカー会議については、職員配置や新型コロナの影響もあり2回の開催で終わり議題にもあげることができませんでした。

### 【今後の課題】

無料定額宿泊所が日常生活支援住居施設に代わったこともあり、全国的には救護施設の待機者が減少傾向で定員割れする施設も散見されている。加えて特別区人事厚生事務組合が更生施設から救護施設に種別変更していく中で利用対象者については再検討が必要になってきます。

## 3) 提供するサービスについて

### 【目標】

コロナ禍においての日中活動についても更なる充実を図り、ご利用者自身が選択して活動に参加できるようにしながら、単調になりがちな施設生活がご利用者にとって少しでも潤いのある生活の場となるよう、季節感を感じられる行事や食事を実施していきます。

### 【取り組み状況と結果】

昨年に続き、ご利用者に縁のある全国ご当地の郷土料理を毎月1回の提供に加えて、世界の料理も不定期ではありますが、提供させていただき話題を呼んでいます、また、今年は特別感を味わっていただこうと誕生月にはバースデイランチを開催しました。行事につきましてはコロナ感染者が発生した7月末に予定していたスイカ割り大会は中止となりましたが、ほぼ予定通り開催できました。また来年度4月より再開する音楽療法については、よりスムーズに開催できるように3月にお試し開催し、ご利用者から好評をいただきました。

希望者にはコロナ感染者数が下火になった頃合いを見て、近隣のスーパーまで買い物に行くなど外出支援ができました。

### 【今後の課題】

行事検討委員会等でも話し合いを持ちましたが、ボランティア頼りになっているクラブ活動に関しては、内容も含めて見直しを行いながら活動できるようにする必要があります。また、くるめ園最大の行事である園旅行なども1泊2日にこだわらず、日帰り旅行など形を変えて開催できるように話し合いをしていきます。

### 3 第三者委員にあった相談の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
6月	「食事を食べなきゃダメ」など言葉遣いが不適切。	言葉遣いや接遇面について資料を基に周知しました。
9月	職員の声が大きく強い口調の時がある。	接遇面について資料を基に徹底して周知していきます。
11月	特定の職員が利用者に対する対応が良くない。	再度職員会議等で周知し、名前の挙がった職員に対しては個別に注意を促していきます。
2月	一部の職員の言葉遣いや対応について	接遇面向上につきましては職員会議などを通じて繰り返し周知徹底していきます。

### 4 発生した事故の内容

種別	件数	摘要
重大事故	0件	

### 5 職員体制（令和5年3月31日）

職種	施設長	副施設長	事務員	生活指導員	介護職員	看護職員	栄養士	調理職員	清掃員	計
職員数	1	1	2	3	27	5	1	7	2	49
内常勤	1	1	1	3	24	0	1	4	0	35
常勤換算	1	1	1.8	3	26.8	2.2	1	5.5	0.8	43.1

### 6 研修の実施状況

#### 1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	延人員
外部研修振り返り 高次脳機能障害について	内部講師	介護職員 指導員	7名
記録の書き方	内部講師	同上	8名
感染症対策	花王プロフェッショナルサービス株	同上	7名
事故対策	内部講師	同上	4名
虐待防止研修	内部講師	同上	8名
福祉施設の人間関係事例から学ぶ	法人内研修	介護職員	3名
コンプライアンス	法人内研修	主任・指導員	3名
社会人としての心得	イーケアラボ	介護職員	23名
倫理法令遵守	イーケアラボ	介護職員	15名
ネットで防災訓練	東京消防庁	全職種	23名
アドラー心理学	イーケアラボ	介護職員	1名

メンタルヘルス	イーケアラボ	介護職員	2名
プライバシーの保護	イーケアラボ	介護職員	2名
介護保険制度	イーケアラボ	介護職員	1名
チームワーク	イーケアラボ	介護職員	1名
介護現場でのリスクマネジメント	イーケアラボ	介護職員	1名

## 2) 施設外研修

研修名・テーマ	主催	参加職種	開催時期	延人員
関東地区救護施設研究協議会	関東地区救護施設協議会	介護職員 栄養士	7月1日	2名
嚥下障害と誤嚥性肺炎	ネスレ	介護職員	9月12日～23日	1名
実習指導者講習会	藤仁館学園専門学校高崎福祉医療カレッジ	指導員	9月13日～14日	1名
高次脳機能障害について 映画：いのちみつめて	小平市高次脳機能障害者支援担当者連絡会	指導員	10月27日	1名
地域移行支援	東京都精神障害者地域移行促進事業	指導員	11月	1名
コロナ禍におけるメンタルヘルス研修	東京都福祉保健局	介護職員	12月7日	2名
障害福祉サービス事業所における感染症・災害対策	東京都社会福祉協議会	介護職員 指導員	11月29日～12月5日	5名
キャラバンメイト養成研修	小平市高齢者支援課	指導員	2月6日	1名
給食施設における災害備蓄食と平時の活用方法	多摩小平保健所	栄養士	3月9日	1名
虐待を生まない組織作りのポイント	法人資料	介護職員	3月	15名

## 7 行事の実施状況

実施月日	行事名	参加者		
		利用者	職員	計
毎月	変わり湯	—	—	—
毎月	バースデイランチ	41名	—	41名
5月15日	中庭昼食会	40名	15名	55名
6月11日	スイーツタイム	46名	8名	56名
6月16日	合同レクリエーション大会	5名	2名	7名
8月19日	かき氷祭り	46名	8名	56名
9月24日	スイーツタイム	45名	8名	53名
10月21日	選択食	47名	8名	55名
11月3日	くるめ祭り	35名	8名	43名
2月21日	スイーツタイム	47名	8名	55名

